

夏休みが始まりました！

7月19日(金)に吉和小中学校で1学期終業式が行われました。子どもたちの待ちに待った夏休みが7月20日(土)からスタートしています。暑い日が続いていますので、熱中症などになってしまわないよう体調管理には気をつけましょう。水分補給の他にも、しっかりと食事や睡眠をとり生活リズムを崩してしまわないように心がけてください。プールや川などで遊ぶ際も大人の方と一緒にいき、子どもだけで行かないように気をつけ、夏休みをしっかりと楽しみましょう！



第1回 防災コラム

今月号から数回に分け防災に関する記事を掲載していきます。

近年ますます頻発・激甚化する災害から命を守るためには、「災害が発生する前に安全を確保する」ことが重要になります。そのためには、危険なエリアから立ち退く“立退き避難”や、自宅の2階などに移動する“屋内安全確保”など、状況に応じて適切な避難行動をとる必要があります。また、“立退き避難”の避難先は、市町が開設する避難場所だけでなく、親戚や知人の家、宿泊施設など、住んでいる地域の避難しやすい場所をいくつか考えておきましょう。

一方、避難行動の大切さを頭では理解していても、実際に行動に移すことが出来る人は少ないという課題もあります。それはいったいなぜなのでしょう？



災害などの予期しない事態に遭遇した際、人は「バイアス（正常化の偏見）」という脳の働きにより、危機に対して正しい判断を取りづらくなる！

「目の前に水が迫る」、「家の裏の斜面が崩れる」などの目に見えて危険であることが理解できないと、楽観視してしまう傾向にあり、災害の危険性を正しく捉えられず、避難を送らせてしまうケースも少なくありません。決して災害や警報を軽視せず「逃げる」ことを前提に行動することが大切です。

あなたの避難が、みんなの命を救う。

災害時、避難した人のほとんどが、“まわりの人が避難したから”を理由に避難を決めています。だからこそ、まずあなたから、避難をはじめてください。そして、避難する際には、地域で声を掛けあって“早めに避難”ができるよう、日頃から周囲の方々と話すなどの準備をお願いします。なお市町が指定する避難所にこだわらず、安全な場所にある親戚や知人宅など、“複数の避難先”を確保しておきましょう。

災害時に早めの避難行動を取ることが出来た人の多くは、自分で危険を判断し避難できた人か、周囲の声かけによって避難して人が多い傾向にあるため、「今まで災害にあったことがない」や「これくらいの雨なら大丈夫」などの固定観念や自分の

考えにとらわれず、「避難した方がいいかな」、「いつ避難しようか」などと呼びかけ合い、一緒に避難する人を増やすことで、より多くの命が助かります。9月号では、地域防災タイムラインについてご紹介します！

吉和の人口(令和6年7月1日)現在

	総人口	男性	女性	世帯数
	559人	280人	279人	309世帯
先月比	±0	±0	±0	±0